

『いらっしやいませ 配達もできますよ』 5歳児11月上旬① 伏見こども園



何をつくらうかな？



ヘルメットできた



配達中です



エピソード

毛糸を木の枝に巻きつけて綿菓子をつくったり、ダンボールにドングリや千日紅をのせて飾りつけをし、ケーキをつくったりして遊んでいた子ども達。「わあ、おいしそう」「どんな味がするかな？」と、友達と見せ合っていました。様々なものができると、Aちゃん、Bちゃんは「バイクをつくって届けてみたい」「いいやん」「ダンボールがいる」と、バイクをつくることにしました。Aちゃんはダンボールにマジックで線をかき、丸い形に切って「タイヤができた」と、嬉しそうに見せました。Aちゃん「本当に乗れるようにしたいねん」、保育者「どうやったら乗れるかな？」「穴をあけると乗れるかも」と、ダンボールに大きな穴をあけました。実際に穴に体を通すと乗ることができ、Bちゃん「私も乗せて」と一緒に穴に入って前に歩き出しました。

次の日から、Aちゃん「ヘルメットがいる」と紙皿やゴム紐でついたり、タイヤや筒のハンドル、食べ物をのせるのを土台につけてりして工夫する姿もありました。

その後、綿菓子やケーキをバイクにのせ、「配達中です」「お届けしますよ」と、友達に届けて手渡していました。食べ物を受け取った友達からも「ありがとう」「おいしいです」と声をかけてもらい、嬉しそうでした。

保育者の思い

- ・ダンボールや毛糸など、今までに使ったことがある素材や、秋の自然に触れてほしいという保育者の思いから、遊びに使えるものを用意しました。
- ・「バイクに乗れるようにしたい」という思いを実現する方法と一緒に考えられるように問いかけました。
- ・子どものイメージや、友達とのやりとりを大切にすることで、関わりの中で嬉しさや喜びを感じられるようにしました。

子どもの育ちや学び

☆遊びには生活経験や社会の様子が表れています。それらを実現するために自分達のイメージを具体化する素材や用具を考え、工夫してつくっています。

○今までに使ったことがある素材や身近な自然物を使って型を考えたり、クリームをイメージしたりして素材を選んでつくっています。

・綿菓子やケーキなどの食べ物…見たこと、食べたことのあるもの、社会の状況に合わせたもの(人気のあるもの)

・デリバリーのバイク…ネットで注文をして家に届けてもらう経験
ヘルメット…ヘルメットを着用する機会(ひと)の増加

○遊びに必要なものを友達や保育者と一緒に考えたり、工夫したりしてつくっています。

○お店の人になって食べ物をデリバリーで届けることで友達とのやりとりが生まれ、楽しさや喜びを感じています。

・お店の人…お店で働く人への憧れ

家庭だったら・・・

食べ物やデリバリーのバイク、お店の人になって遊ぶ子どもの姿には生活の中で経験したり、感じたりしたことを取り入れていることが分かります。お家の方と一緒に様々な経験を重ねたり、子ども達との会話の中で社会の様子にも目を向けられるようにしたりすることも大切ですね。

『どんなお店にしようかな』 5歳児11月中旬② 伏見こども園

どんなお店に
しようかな



大きなジョウゴに筒をさして
屋根の真ん中を支える

お店ができましたよ
いらっしやいませ



エピソード

ダンボールや毛糸などの素材や、ドングリ、木の枝、千日紅の自然物を使って食べ物をつくって遊んでいく中で「お店屋さんをつくりたい」という思いが生まれました。Aちゃん「どうやってお店をつくる?」、Bちゃん「ダンボールを屋根にするのはどう?」と、お店の屋根づくりが始まりました。Aちゃんは広げたダンボールを両手で支えながら頭上に持ち上げ、「こんな屋根にしたい。支えるための棒がいる」と、考えます。Aちゃん、Bちゃんは保育者と一緒に屋根を支えるための長い筒や支柱を遊びの場に運び、ダンボールの屋根と筒や支柱の接続部分を協力しながらガムテープで取れないように貼りました。しかし、「貼れたけど、真ん中が落ちてくる」と、Cくん。屋根が下にさがってくることに気付きました。保育者「どうしたらいいかな?」、Aちゃん「真ん中にも棒がいる」と、大きなジョウゴに筒をさしてダンボールの屋根を支えてみました。屋根は安定し、イメージした店が少しずつできていき、嬉しそうにしていました。

保育者の思い

- ・遊びの話し合いで「店屋づくりに必要なものは何か」と尋ねると、「ダンボールがいる」「長い棒もいる」という声が聞かれました。イメージしたお店がつくれるように子ども達が扱いやすい素材や用具を遊びの場の近くに準備しておきました。
- ・屋根を支えるために必要なものを子ども達と一緒に考えたり、ダンボールと筒や支柱を接続する時に保育者も声をかけたり、支えたりしながらつくってみようとする姿を後押ししました。

子どもの育ちや学び

- 店づくりに必要なものを友達や保育者と一緒に考えることで、つくりたいお店のイメージを共有しています。
- ダンボールや長い筒などの特性が分かり、どのような素材や用具を使えばよいか考え、必要なものを友達や保育者と一緒に用意しています。
- ダンボールの屋根を筒や支柱と接続する時に、支える子、ガムテープを貼る子など、役割分担しながら協力をして屋根をつくっています。
- 屋根を安定させるために大きなジョウゴと筒を使って支えることを考えました。

家庭だったら・・・

友達に考えを伝えたり、役割分担や協力をしたりして遊ぶ姿が見られます。ご家庭でも子ども達の考えに耳を傾けてみてください。

また、生活の中でお家の方と力を合わせて活動してみてください。一つのことを一緒にする楽しさや喜びを感じられるかもしれませんね。